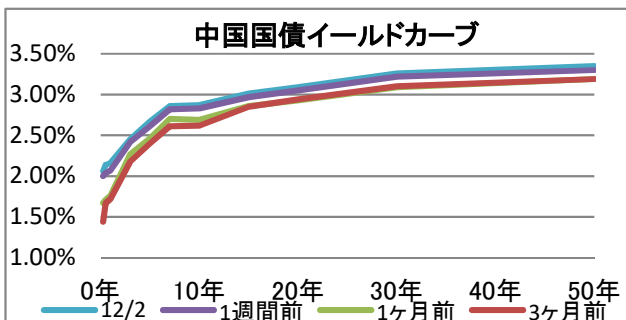
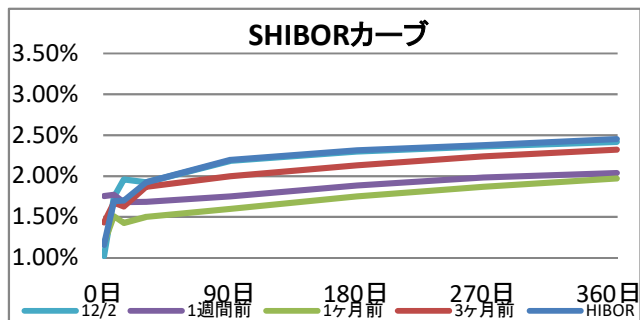


基準レート		2022/12/2	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0542	-0.0797
	JPY/CNY	5.2177	+0.0742
SHIBOR	3M	2.2000%	+0.0120%
国債利回り	10年	2.87%	+0.04%
上海総合指数		3,156.14	+54.45



(1) 概況

国際金融市場では、景気減速やインフレピークアウトに対する期待が高まる中、米国雇用統計前にパウエルFRB議長が利上げペースの減速を示唆したこと、債券利回りは一段と低下し、株式市場も底堅い状況となり、その後の米雇用統計は市場予想を上回る内容となったものの、市場のセンチメントやトレンドを変えるには至らなかった。

中国金融市場では、コロナ感染拡大は高止まっているものの、不動産支援政策やゼロコロナ政策の緩和による経済回復への期待から、株式市場は上昇トレンドを維持し、債券利回りは上昇に転じている。外為市場では、米国金融引き締めペース減速に加え、中国のゼロコロナ政策緩和への期待や中国金融市場への国外資金流入により人民元高に転じている。

中国では、李総理が日中経営者等と対話で、デジタル、グリーン、財政・金融等の分野での協力強化に期待を示し、衛生担当副総理は厳格なゼロコロナ政策の転換を示唆し、一部都市では同措置の緩和を開始。易中国人民銀行行長は講演で、景気減速の可能性が高まっているとして、預金準備率引下げにより市場金利低下を促し、实体经济への支援度を高める点を強調し、中国人民銀行と外貨管理局は、金融市場の更なる開放推進のため、「海外機関のパンダ債発行資金管理に関する通知」を公表し、銀保監会は、「商業銀行のオフバラ業務リスク管理に関する通知」によりオフバラ業務のリスク管理を更に強化し、証監会は、不動産関連上場企業のM&A再編支援等を含む不動産支援措置を公表。この間、上海開催のアセマネ関連フォーラムでは、上海市政府や金融当局から、上海での同分野の対外開放方針やグローバル・アセマネセンター建設への支援方針、専門性を有する外資へのサービス提供に対する期待等が示された。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日230億元に対し、新規リバースオペ3,170億元を実施し、ネットで2,940億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局のPMI (11月) は、製造業が48.0% (10月、49.2%)、非製造業46.7% (同、48.7%)、総合は47.1% (同、49.0%) と何れも2か月連続で50%を下回り、一段と悪化。製造業は、生産、新規受注を含む全サブ指数が48%を下回ったほか、非製造業では、コロナ感染再拡大の影響で、宿泊、飲食、娯楽等が38%を下回る厳しい結果。
- ・ 財新PMI (11月) は、製造業が49.4 (10月、49.2) と前月比小幅に改善したものの、コロナ感染再拡大による国内活動の制約や海外受注の減少等の影響から前月を下回る水準となった。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1570%	1.4600%	1.0600%	
1W	1.6930%	1.7100%	1.8000%	
2W	1.7000%	2.2000%	2.0000%	1.4500%
1M	1.9230%	1.6500%	3.0000%	2.1000%
3M	2.2000%	2.4000%	2.5000%	2.2300%
6M	2.3160%	2.5000%		2.3700%
9M	2.3770%			2.4700%
12M	2.4540%		2.7000%	2.5000%

月初の資金需給改善に加え、預金準備率引き下げを控えていること等から市場は安定しているものの、ターム物は年末越えとなることから金利水準は総じて上昇している。ターム物は、年末を意識して出合いが限定的となる中、1ヶ月物が2.5%前後に上昇して出合っているのを除き出合いは限定的。

NCDも、12月に入ったことで、月内の短期は預金準備率引き下げを織り込んで金利水準が低下する一方、ターム物は年末を意識して上昇に転じており、1ヶ月が2.1%台、3ヶ月が2.25%前後、6ヶ月は2.3%台後半、1年は2.50%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	3.81%	3.82%
1W	3.90%	3.95%
1M	4.10%	4.20%
3M	5.40%	5.50%
6M	5.60%	5.80%
12M	5.80%	6.00%

パウエル議長発言による利上げ減速期待が高まったものの、雇用統計を控えていることから、中国国内市場のターム物の金利水準は概ね横ばい。ターム物は出合いは1ヶ月の4.2%前後での出合いを除き限定的。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.06%		2.27%	2.36%	2.75%
6M	2.14%		2.48%	2.55%	2.95%
1Y	2.16%	2.27%	2.60%	2.68%	3.12%
3Y	2.45%	2.64%	2.86%	3.12%	3.67%
5Y	2.67%	2.83%	3.10%	3.32%	3.96%
10Y	2.87%	3.01%	3.35%	3.55%	4.20%

債券市場では、パウエルFRB議長発言により欧米の債券利回りが一段と低下し、中国でも景気悪化を示す経済指標が続いたものの、中国政府による不動産規制やゼロコロナ政策等の緩和による経済回復への期待が高まったことから、債券利回りは中期を中心に上昇に転じた。米国債利回りは金融引締め減速期待の一段の高まりから10年米国債利回り（3.49%、-19bp）は更に低下しており、中国国債利回り（2.87%、+4bp）の上回り幅は+62BP（前週比-23bp）と4週連続で縮小しており、11月初の+146bpの半分以下まで縮小している。

イールドカーブは、利率債、信用債ともに上昇しており、前週に低下していた中期までのゾーンが上昇に転じたことからフラットニングに転じている。クレジットスプレッドは信用債の利回りが中期ゾーンまで大幅に上昇し、長期では上昇が限定的となったことにより、中期ゾーンまでは概ね拡大に転じたものの、長期は概ね変化のない状況となっている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-170.5 / -170.1
3M	-521.0 / -520.0
6M	-1045.0 / -1042.0
9M	-1524.0 / -1521.0
12M	-1945.0 / -1937.0

対ドル基準レートは7.0542と前週比-797pipsのドル安元高、対円基準レートは5.2177と同+742pipsの円高元安と、市場での人民元買戻しによる元高を映じた設定となっている。中国国内市場では、コロナ感染拡大や経済指標の悪化が続いているものの、ゼロコロナ政策緩和や米国の金融引締め減速への期待から人民元の買戻しにより人民元が上昇し易い状況となり、国外からの投資資金流入もあって、ドル人民元は7.03台まで下落して週末を迎えている。

先物は、週末に米雇用統計を週末に控えていることから動意に乏しく、1年物で-2100台での小幅な値動きに終始していたものの、パウエル議長発言を受けて週後半に-1900台半ばまで縮小している。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.05%		1.57%
6M	2.10%	2.27%	1.80%
9M	2.16%	2.34%	1.87%
1Y	2.22%	2.42%	1.91%
3Y	2.56%	2.84%	2.00%
5Y	2.79%	3.16%	
7Y	2.93%	3.34%	
10Y	3.08%	3.51%	

スワップ金利は、基準金利は低下したものの、債券利回りが中期ゾーンを中心に全体的に上昇したことから小幅な上昇に転じ、スワップスプレッドは全体的に縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。